

第7回北区新庁舎にぎわい創出有識者会議 概要

- 日時 令和7年10月15日（水）14：30～17：10

- 場所 北区役所 第一庁舎 庁議室

- 次第 1 開会

- ・ 前回会議のご意見等に対する対応
- ・ 基本設計中間のまとめ説明会の開催状況

2 議事

- ・ にぎわいのとりまとめについて
- ・ コンセプトブックについて

3 その他

- ・ 今後の進め方について

4 閉会

- 会議概要

1 開会

- 事務局から、基本設計中間のまとめ説明会の開催状況について説明があった。
- 委員意見等
- ・ 当部会では低層部や子育て世代を意識した議論をしているため、その層のリアクションは気になる。今後は、若い人の意見を聞く機会を設けられるとよい。

2 議事

(1) にぎわいのとりまとめについて

- 事務局から、にぎわいのとりまとめについて説明があった。
- 委員意見等
 - ・ 「今後の進め方」、「区民意向醸成関連」について、「にぎわい芽生え期」の「使い方WS等」の成果が「実施設計」に矢印で繋がっているが、運営のあり方にも反映されるべきではないか。
 - ・ コスト面で、にぎわいをどの範囲で実現するかは重要。新庁舎内では実現が難しいが、隣接公園であれば可能性があるなど、その際に必要なインフラやエリアプラットフォームに関する検討も必要。庁舎の検討を先行して進める場合でも、全体を調整する議論の場が必要ではないか。
 - ・ 都市計画決定までに意見を反映させることが理想だが、並行して進めるしかない。ソフト面も含め、有識者会議で出た意見を全体でどのように実現するか、検討してもらいたい。
 - ・ 道路の使い方次第で広場の空間が広く確保できる可能性もある。
 - ・ エリアプラットフォームがエリアマネジメント組織に発展的に進化するという前提であるが、現時点では判断できない。その前提であるならば、管理運営体制側にエリアプラットフォームの意見を反映すべきだが、その体制が見えず、現時点で明記して良いかどうか懸念がある。また、「ロゴ・ネーミング検討」に「ロゴ・ネーミングコピー検討」も加えてほしい。
 - ・ 指定管理者が責任者となるのはよいが、専門のディレクター設置についても検討した方がよい。公共空間活用の専門家を追加するくらいのことをしなければ、利活用回数が減るのではないか。指定管理業務以外にも挑戦しなければならない。
 - ・ 現時点でエリアプラットフォームではないが、エリアマネジメント組織と管理運営側との協議を想定した方がよいのではないか。エリアマネジメント組織の組成についても想定した方がよい。
 - ・ コンセプト部分について、空間、敷地ゾーニング、機能が分かれてわかりやすくなった。
 - ・ 機能ゾーニングは、ゾーンなのか、ゾーニングなのか迷うところである。今後の課題かもしれないが、やはり空間に落としていく方向になるのではないか。
 - ・ 「よりそう」について、もともと意味的な階層が違うという議論があり、整理されより分かりやすくなった。一方で、他の「つながる」「つどう」「はぐくむ」「やってみる」の4つは機能があるが、「よりそう」は実態であり機能ではない。ここに並べること自体難しかったのではないか。思い思いに過ごす人がいるが、ハレーションが起きずに過ごせる良さを「よりそう」に与えてもらっている。それがミスリーディングに繋がるかもしれない。「思い思いに過ごす」という意味の言葉について、引き続き検討が必要。
 - ・ 「アクティブな場と目的なく過ごせる場をつくる」については、議論を重ねてきた項目であり、意義がある。様々な空間を指しているため、「場づくり」でよい。場と場所の言葉を使い分けた方が良

い。今回のコンセプトでは思い思いの時間を過ごしつつハレーションが起きない、目的がなくても行くことができることがコンセプトでもある。場所とは何かが重要となってくる。

- ・ 「よりそう」は全体を包摂するものであるが、それ自体の機能性はなく、結果、そのような状態を実現したということを示している。困っている人に一方的に寄り添うわけではなく、ぼんやりしている人も温かく見守ることも含めて包摂するという意味である。堅く書くと包摂になるが、そのような現代的な感覚を、昔ながらの寄り添うというイメージに誤解されたくない。
- ・ 今後にぎわい検討を進めていくうえで、審査系の委員会ではなく、このプロジェクトに影響を与えるような委員会を検討して欲しい。
- ・ 空間については、1階を緑中心か、にぎわい中心にするか難しいところである。イベント広場に設定されているのは、敷地北西側の明治通り交差点に面した場所であり、使われ方が難しい。
- ・ 道路を一体利用する場合、道路を段差なしにするとか、ボラードにするなどが重要になる。
- ・ 1階部分に「ハウス」がある場合とない場合については、それぞれ良さがある。2階部分は平場が分散しているため、「ハウス」を移動するか、平場を追加した方が良い。
- ・ エリアプラットフォーム目線だと、イベント広場と「ハウス」は極力近い方がよい。コーヒーフエスなどがあると、「ハウス」の中で飲食でき、イベント広場と屋内スペースはセット運用ができる。屋外広場のみであると、緑寄りにテント並べることになり、販売が困難ではないか。倉庫近くが望ましい。人力で運べる椅子・テーブル、小規模テントも近くに置けるとよい。
- ・ イベント広場も道路で区切られると使いづらい。
- ・ 広場の活用と街路樹は関連する。街路樹がないと視線が抜けすぎている印象も受ける。
- ・ ひとりでもいられるような場所について説明があったが、人口密度が高い時の居場所があると良いのではないか。「ハウス」を1階に持ってくると良いのではないか。
- ・ 聞かれたくない話などもあるため、「ハウス」は閉じたものと開けたもの両方ある方が良い。デザインは統一しなくても良いのではないか。

(2) コンセプトブックについて

○ 事務局から、コンセプトブックについて説明があった。

○ 委員意見等

- ・ コンセプトブックは低層部のみを扱うものなので、どこで出していくか検討が必要である。
- ・ コンセプトブック全体は凝縮されており、低層部を区民に開くという意図が表現的にわかりやすいものであってほしい。

3 その他

4 閉会